



くらしHOW 研究員がミセスをヨム！

「一緒に入りたい人はいない」も理解できる！

F 「リビング新聞」で大反響だった“伝説の記事”に、「ミセスは夫のお墓に入りたくない」って記事があったそうですね。

U あったね。今から30年以上前の記事よね。

F 今回はミセスが一番「一緒のお墓に入りたくない人」は夫でした。ちょっと安心しました！

U いやあ、実はあれも「夫と入りたくない」でなくて、「夫の墓に入りたくない」だったんだよ…。今回も「夫の親・兄弟・先祖」と入りたくないという人はそれなりにいるので、あまり変わっていないかもよ。

N 40代、50代で夫の親族と一緒に入りたくない人が増えるのは、自分たちの親世代を見ていても、納得。やっぱり新婚時代はさておき、付き合いが長くなると、いろいろあるんだよね。

F 「夫の親」って60代になると「一緒に入りたくない率」が減るじゃないですか。でも「夫の兄弟姉妹」はずっと一定で、けっこうな割合が…。この関係、けっこう難しいのかも。

I 「特に一緒に入りたい相手はいない」も40代以上はけっこういますよね。この気持ち分かなー。お墓の中くらい一人でのびのびしたい、と。

F フリーアンスーを見ると、逆に合同墓のようなものにも、抵抗感は減っています。死後も家族が共同体という感覚は減ってきているのかもですね。

子どもために「自分の葬儀は自分で」

U 葬儀は、50代・60代になると「自分が決めたい」人が増えるね。葬儀に出ることが増えて、具体的に考えるようになるし、遺族の側になって「どうしてあげるのがベストだったのだろう？」と悩むことも増える。だから「残された人のためにも、自分で決めておこう」と思うんじゃない？

I 今は不景気で、親も子どもの事情を察しているし、長生きになったから時間もあるし、うちの親からも「子どものためにも自分のことは自分で決めておく」という気持ちをすごく感じますよ。

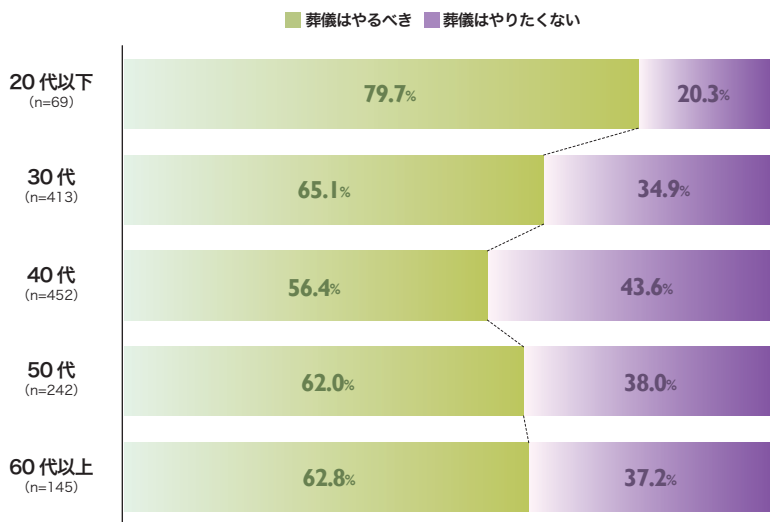


オトコの視点

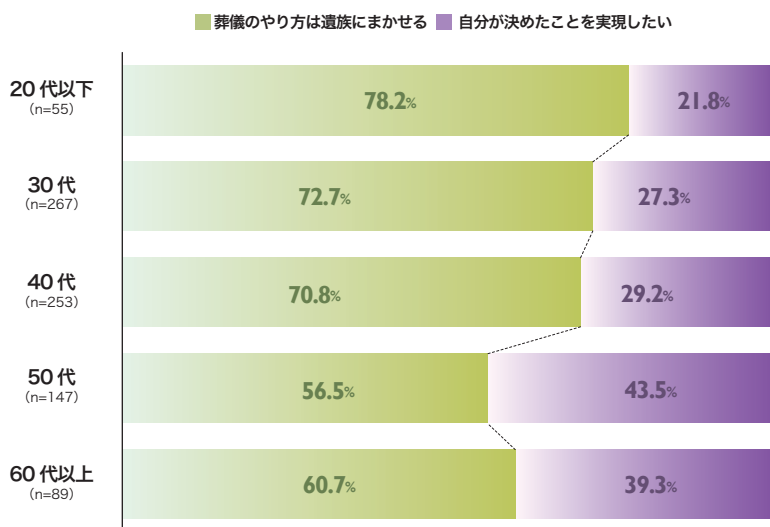
気になる「だれがこの墓を守るのか」
今こそ夫婦の話し合いスタートのとき

自分の家を建てることが高度成長期の家族の希望であった。大家族から核家族への移行。家と同様に自分のお墓も！という時代。しかし今となっては、だれの墓に入るかよりだれが墓を守ってくれるかが気になる点だ。少子化と密接に結びつく墓の問題は、これからの夫婦の重要なテーマであるが、夫婦間で話し合われている様子は少ない。まずは、あなたと一緒にのお墓になんか入りたくないわよ！それじゃ、お前はどうしたいんだ！といった話し合いが必要なのだろう。

自分の葬儀はやるべき？ やりたくない？



(葬儀はやるべきだと答えた人)
自分の葬儀のやり方は自分で決めたい？ 遺族にまかせたい？



「自分の葬儀はやるべき」が6割
内容は「遺族にまかせたい」とあっさり志向

自分の葬儀は「やるべき」と答えた人が6割程度。過半数は超えているのですが、40代では「やりたくない」が4割を超えるなど、葬儀離れはたしかにありそうです。「やるべき」と答えた人に、自分の葬儀の内容を「遺族にまかせたい」か「自分が決めたことを実現したい」かを選んでもらったところ、全体では7割ほどが「遺族にまかせたい」と回答。しかし、50代・60代では「自分が決めたことを実現」派が4割前後に増加。人生経験が増す中で、葬儀にも自分の意志が生まれてくるのか、遺族の負担を考えるのか、自分で生前に決めておくという人も少なくはないようです。

【調査概要】
調査期間 2010年2月18日～21日
調査方法 ウェブアンケート調査（リビング新聞公式サイト「えるこみ」提出）
有効回答 配偶者のいる女性1346人

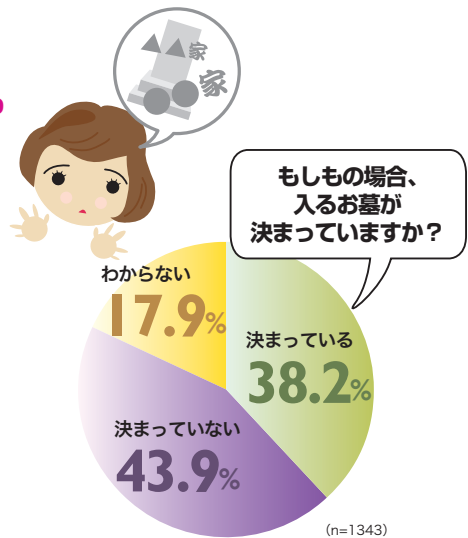
Part 3

「無縁社会」を生きる本音は…「母系墓」が希望！？

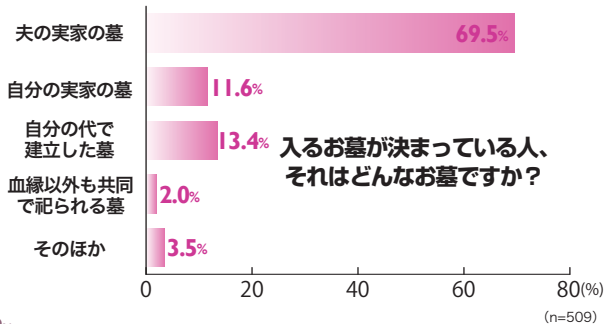
一緒のお墓に入りたい人は、夫、子供、そして自分の親

所在不明高齢者、孤独死など長寿大国・日本に「無縁社会」の影がしのびよった2010年。ごく普通の家庭生活を営むミセスたちは、自分自身のお墓・葬儀などに対して、どう考えているのでしょうか？ まだ衝撃的…とまでは言えないけれど、変わらざるを得ない状況が数字の裏からのぞく、ちょっぴり怖いデータかもしれません。

ミセスの気持ちドキドキデータを読む



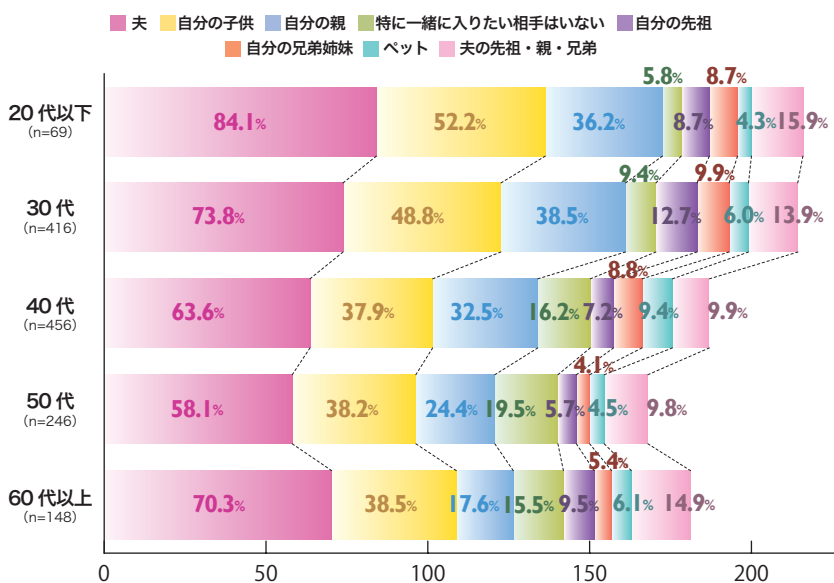
もしもの場合、
入るお墓が
決まっていますか？



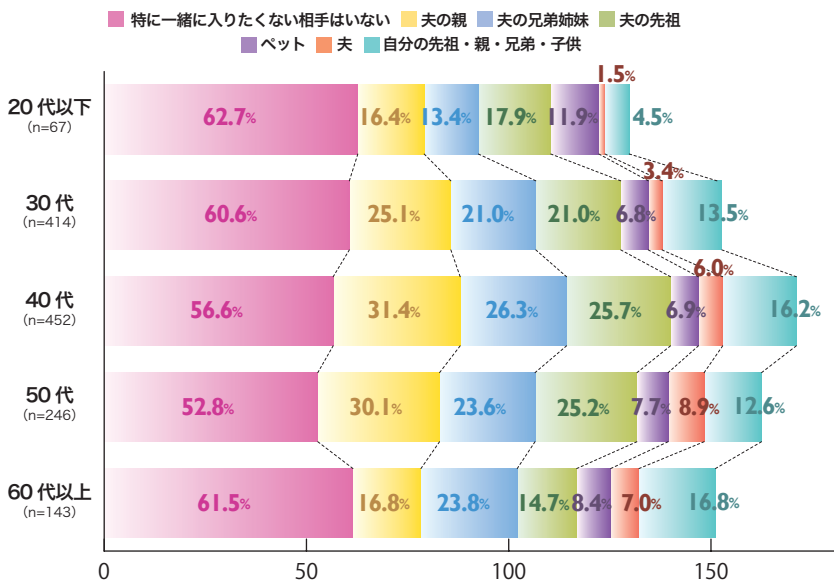
入るお墓が決まっている人が4割
そのうち7割は「夫の実家の墓」に

もしもの場合、自分が入るお墓が決まっている人は約4割。ミセスの過半数は、これから自分のお墓を考えていかなくはなりません。「決まっている」人は7割が「夫の実家の墓」です。この人たちはもう安心なのかと思えば、この先のデータを見るとそうでもない様子で…。

あなたが一緒のお墓に入りたい人はだれ？ (複数回答)



あなたが、できれば一緒のお墓に入りたくない人はだれ？ (複数回答)



「夫と一緒にのお墓に入りたい」
20代は84.1%、50代は58.1%

一緒のお墓に入りたい相手の1位は「夫」という、これはホッとする結果に。しかし年代別にみると、20代をピークに、30代、40代、50代とその割合は下がり、底となった50代では58.1%に低下。そのほか一緒に入りたいのは「自分の子」と「自分の親」。一方で、「一緒に入りたくない人」を聞くと、「特にいない」という回答が6割と多数。ただ「夫の親」「夫の兄弟」「夫の先祖」を挙げた人も、3～4人に1人は出現しました。解釈すると「夫の血縁につながる墓」ではなく、「自分を中心とした血縁の墓に、夫と一緒に入りたい」というのが、ミセスのホンネです。